

## ☆第2土曜日・観察会

秋の気配がただよい始めた9月の観察会は、秋の七草の紹介からスタートです。春の七草は有名で、全て言える方もおられるかと思いますが、秋の七草を全て言える！という方は少ないのではないのでしょうか。オミナエシ、ススキ、キキョウ、ナデシコ、フジバカマ、クズ、ハギという7種類で、覚え方はそれぞれの名前の頭をつなげて、「オスキナ



竹林整備

フクハ」→「お好きな服は？」というものがあるそうです。春の七草のようにお粥などで食べるのではなく、見た目にも美しい植物が選ばれています。これらのうち、河辺いきものの森で見られるものを見に行きました。まずはススキ。光を浴びて銀色に輝く長い穂が美しい植物ですが、今の時期はまだ穂が完全には熟しておらず、青々とした姿のため、今回注目したいのはその株元です。何やら紫色の奇妙なものが生えています。これはナンバンギセルという、ススキの根に寄生して生きている植物で、葉緑素を持たない仲間なのです。花の姿がまるで南蛮のタバコを吸うパイプ（キセル）のようであることから、ナンバンギセルという名がつけられました。そしてその横では、クズがススキにツルを絡めていました。

次に萩の花を見るために交流広場の方へ。ちょうどヒガンバナが咲き始めていました。夏の終わりを強く感じる植物です。

その後、ウバユリの実やガマズミの虫こぶなどを観察し、ゆったりと森を散策しました。今回は土曜作業日初参加の方がたくさん見られたので、様々な植物を通じて森の魅力が少しでも伝わっていれば嬉しいなと思います。

## ☆第2土曜日作業内容

9月は体を動かすにはぴったりのシーズン！作業もたくさん用意しました。1つ目は先月の木ままクラブの作業の続きで、不足してきた学校の工作用の竹材取りです。竹林の中は蚊がい

っぱいで、皆さん蚊に苦戦しながらもたくさん竹材を取っていただきました。



のこぎり初挑戦！！

2つめは屋外トイレ裏付近の機械刈りです。この辺りは、養護学校向けのプログラムで使用するため、丁寧に刈っていただきます。さらに、今はあちこちでヤブランが紫色の花をきれいに咲かせているので、それらは残すようにと注文を出したのですが、花がよく目立つので、ストレス無く刈れたとの声もあり、バッチリです。

3つめは散策路にかかった危険な枯れ枝処理です。センターから野鳥観察小屋へと向かう途中で、大きなケヤキの枯れ枝を落としてもらいました。かなり高い位置だったので、ロープがなかなか届かず、枝が思ったよりも堅くて大変でした。ロープを引っ張るときのリズムを合わせ、反動を利用しながら引っ張り、計3本の枝を処理することができました。

4つめの作業は、交流広場の手刈り作業です。交流広場には四季を通して様々な草花が見られるのですが、アケビやテイカカズラのツルが増えてきて地面を覆うようになっているため、ササなどと共に刈り取りました。手作業のため、広い範囲を刈ることは難しいのですが、これからも少しずつ手を入れて、花いっぱいの素敵な交流広場にしていきたいと思います。

昼食は、松本さん特製の炊き込みご飯、豚汁、ポテトサラダ、カモウリのそぼろあんかけ、冷や奴、じゃこピーマンがテーブルに並びました。リーダーぶんちゃんと松本料理長、そして若者たちの活躍(?)によりいつものおいしいご飯が完成しました。

午後からは全員で、工作とは別の竹材取りをしました。この材で竹の容器を作り、それでお米を炊くのです。枝払いなどはちびっこが手伝ってくれて、遊林会らしく老若男女みんなで作業をすることができました！

10月の作業日は

**10月12日(第2土曜日)、23日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)**

遊林会の作業会議「森の居酒屋」は **10月9日(水) 午後7時00分頃**

**主催者：遊林会**

連絡先(遊林会事務局)：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : [ikimono@e-omi.ne.jp](mailto:ikimono@e-omi.ne.jp)

森のブログは「かわべえ7ブログ」で検索！

## ☆第4水曜日の作業

水曜日の遊林会は台風18号の後片付けからです。道を塞ぐような大きな枝は森の松本さんが綺麗にしてくれましたが、まだまだたくさん枝が落ちています。軽トラと軽ダンプの2台体制で作業に当たりました。整理した枝は使えるものは柴に、それ以外は焼き芋の燃料にと、全て有効に使います。もう一つは草刈り。森の保全のためと、子どもたちがドングリを拾いやすいようにと、二つの役割があります。

昼からは、テントの補修作業です。風で曲がってしまったテントのポールをまっすぐに直します。あまり強くたたくと弱くなってしまうので、加減しながら直していきます。木づちでたたいたり、木で挟んでじっくり曲げたりと、ベテランさんの指示に従いながらの作業です。

## ☆9月の木ままクラブ

9月下旬から本格的に始まる、どんぐり拾いにむけて、屋外トイレ奥のエリアを草刈り機でかってもらいました。澄みきった青空の下、汗をたくさんかきながら、予定していた範囲を午前中ですべて刈ってもらいました。これで、子どもたちも安心してドングリ拾いに森の中へ入りやすくなりました！

午後からは、台風18号によって飛ばされてしまった、ピザ窯の上の屋根張りをおこないました。15時までかかって、真っ白でピンと張られた、屋根ができました！！

10月の活動は17日、31日です。

## ☆河辺いきものの森情報

10月に入って、やっと涼しくなってきました。今年はドングリはちょっと小さめですが、結構な当たり年で、森の中はドングリがたくさん落ちています。台風でもたくさんドングリが落ちました。台風18号です。幸い森では大きな木は倒れませんでした。永源寺にある萱尾町での記録はなんと1日で約570mm。雨の少なかった8月の月雨量は約120mmだったので、8月の5倍近くの雨が一日で降ったこととなります。こんな雨が毎年続くのかな、と思うとちょっと心配ですよね。

## ☆森のスタッフルーム情報

4月から森で働いている岸本です。この度、京都大学の大学職員に採用され、京大の演習林の管理に携わることになりました。演習林は京都だけでなく、和歌山、北海道にもあり、最初

の赴任地は北海道演習林、しかも10月からの勤務が決まり、任期途中で森を去ることになってしまいました。急な話で、スタッフの皆さんには迷惑を掛けることになってしまいました。新しい仕事に対して背中を押してもらったこと、本当に感謝しています。

また、この森で得た経験と、大学で学んできたことを活かせる仕事に就くことができたのは、学生時代からお世話になり、多くのことを教えてもらった遊林会の皆さんのおかげです。例えば、僕が森林のことに興味を持ったのも、春休みにこの森に来て、タチツボスミレやシュンランが咲き、たくさん鳥たちがさえずる美しい森に出会ったことがきっかけでした。

遠く離れることとなりますが、この森が好きなのは変わらないので、陰ながらも支援していきたいし、また顔を出そうと思うので、今後ともよろしくお祈りします。

最後に、北海道にお越しの際は是非、京大演習林にも来てくださいね！案内します！

## ☆モリイコ！の子どもたち

9月のモリイコS！は「夜の森たんけん」をするために、午後からのスタートです。夜に歩くルートに目印をつけたり、夜に鳴く虫についての勉強をしました。そして、お楽しみの晩ご飯はカレーです♪お米係、野菜切り係、火の係など、役割分担をして協力して作ったカレーの味は絶品でした！おいしすぎて、おかわりを4杯もした子がいたのですが…お腹は大丈夫かな？夜の森は昼間の森と違った雰囲気だったので「怖かった〜！」と言っている子もいましたが、みんなでギュッと一緒になっての森たんけんだったので、楽しかったのでは？と思います。

モリイコ！は雨の日が多くなりましたが「秋の生き物つかみと工作」をしました。グループ対抗の生き物つかみでは、見つけたり捕まえたりすることが難しい「カナヘビ」や「カマキリ」を捕まえると、高得点をゲットできます。時間ギリギリまで頑張っていた子や、人生で初めてカマキリを持つことができて嬉しそうな子もいました。ノコギリやナイフを使う工作では、みんないつも以上に真剣な顔で工作に取り組んでいました。森の材料を切ったり削ったりして作ったおもちゃで何度も遊ぶ姿が印象的でした。

## ☆10月の作業は…

10月はサツマイモ料理、秋野菜の料理でお待ちしております。